

課題内容

POPはあなたは食品店、飲食店 or 書店の店員です。お気に入りの商品をアピール（販売促進）するためのPOP作りを店長から依頼されました。なんと！偶然にもその商品は日頃からあなたの推しの品物だったので。さあ、その商品売る（宣伝）するために、どんなPOPを作りますか？

例

食べ物なら・・・お菓子、ラーメン、清涼飲料水、ケーキ
 本なら・・・朝読書で読んでいる本、皆さんに紹介したい本



制作条件の再確認

- ・黒もしくは黒っぽい緑色（黒板風）のダンボールを土台にして制作する。
- ・画材はアクリル絵具が中心となるが、クレヨン、ポスカ等を利用してかまわない（アクリル絵具以外を利用する場合は自分で準備する）。
- ・商品の手描きイラストを必ず入れること。
- ・遠くから見て目立つデザインであること。
- ・「商品名」「価格」「簡単なキャッチコピー」そして「手描きイラスト」を必ず入れること（それ以外にも入れても構わない）。
- ・土台に描くのを基本とするが、文字、手描きイラストを貼り付けることは構わないが、あまり飛び出さないようにすること。



作業手順

- 第1段階 段ボールの土台の色の決定（黒？ 黒板風？）
- 第2段階 本にする？食べ物にする？
- 第3段階 自分の推しの食べ物（本）はなに？
- 第4段階 品物が決定したら、なぜそれが好きなの？自分しか知らない推しの理由、それをキャッチコピーにしてみよう（自分の感じたこと、思ったこと、考えたことを一言で）！
 どんなどころを紹介したい 食べ物なら 味、食感、 本なら 主人公（キャラクター）、好きな場面
- 第5段階 品物が決定したら価格（定価もしくは最近購入した価格、実売価格、あなたが売りたい価格）の設定。
- 第6段階 アイデアスケッチの制作を行う。
 イラスト、キャッチコピー、価格の効果的な配置を考えてみる。
- 第7段階 いよいよ実際に段ボールに制作していく。

道具及び材料

段ボール3枚（A3サイズ）、ケント紙

アクリル絵具一式、机にひく厚紙、カッターナイフ、ハサミ、のり（ボンド）

品物を（実物確認）、レタリング等の利用、検索、アイデアの拡張ためにスマホ及びタブレットの利用は可とするが、関係のないことに使うことのないようにすること。

また、他人のアイデアを盗用することなく、オリジナリティのある作品制作をすること。

アイデアスケッチとは・・・(アイデアスケッチは創造の要)

デザイナーが発想したイメージを2次元表現したもの。デザインの初期段階において、デザイナーの頭に浮かぶ発想を描きとめたスケッチで短時間に描かれる。用紙に鉛筆、ボールペン、マーカー、パステル等で描かれる。



アイデアスケッチの制作

実際に用紙に描く前にアイデアスケッチを制作して、自分の構想をまとめてみよう！

紙は縦？横？・・・斜め？ それとも・・・。

手描きイラストはどんな感じリアル？アニメ風？デザイン風？大きさは？場所は？土台に直接描く？貼り付ける？

キャッチコピー、金額はどんな字体で、土台に直接描く？貼り付ける？

どんな色が良いのかな・・・？

そんなことを考えながらアイデアスケッチを制作してみよう（上の要素は全ていれてください）！

制作に入る前に・・・最終確認 POP とは

POPとは「Point of purchase advertising= 消費者が商品を購入する場で行われる広告」のことです。

スタッフの手作りのものも多く見られます。パソコンのソフトを使って作成することも可能ですが、親近感を得られる手描きPOP広告が、近年多く採用されています。

POP広告の市場規模は拡大の一途をたどっていて、クリエイター資格（民間資格）も複数登場しているほどです。

POP 広告の目的は

お客さんに商品やサービスについて、より多くの情報を伝え、安心して購入してもらえるようにすること。

優れた POP とは？

POPの目的をしっかりと果たすこと。お客さんにとって有益な情報を提供し、商品購入する判断材料になっているものが優れている。

- | | |
|--|---|
| ・誰に対して発信しているのかを明確にする（ | ） |
| ・一番伝えたい情報をひと目でわかるように、わかりやすく載せる（ | ） |
| ・POP 広告を利用して、おすすめ商品をしぼり、欲張りすぎない（ | ） |
| ・あたりまえすぎることは書かない（使わなければわからない、どんな人に等どう役立つのか | ） |
| （ | ） |
| ・時節イベントに合わせてPOPを作り直すことが効果につながる（ | ） |